

船舶の動静情報を収集・提供する施設の電源喪失対策により 船舶交通の安全を確保

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要: 令和6年台風第10号で長期間の停電が発生したが、御岳AIS送受信所の電源喪失対策として非常用発電機を整備していたことにより、船舶への情報提供を継続し、船舶交通の安全を確保することができた。

対策名: 63-2 航路標識の耐災害性強化対策(電源喪失対策) <5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体: 海上保安庁 第十管区海上保安本部
- 実施場所: 鹿児島県鹿児島郡十島村(中之島)
- 事業概要: 令和元年房総半島台風や令和2年の台風の際、長期停電が発生して主要な灯台や船舶通航信号所が運用不能となり、船舶交通に支障が生じたこと等を踏まえ、電源喪失対策を実施している。御岳AIS送受信所(※)の電源喪失対策のため非常用発電機(継続稼働時間72時間以上)の整備を実施した。
- 事業費: 全体事業費 約0.36億円(令和4年度)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約0.36億円)
- 災害の外力、被害と効果:
令和6年台風第10号の影響により、御岳AIS送受信所では約100時間の停電が発生し、同送受信所は外部電源を喪失したが、電源喪失対策として非常用発電機を整備していたことから、船舶への情報提供を維持し、船舶交通の安全を確保することができた。

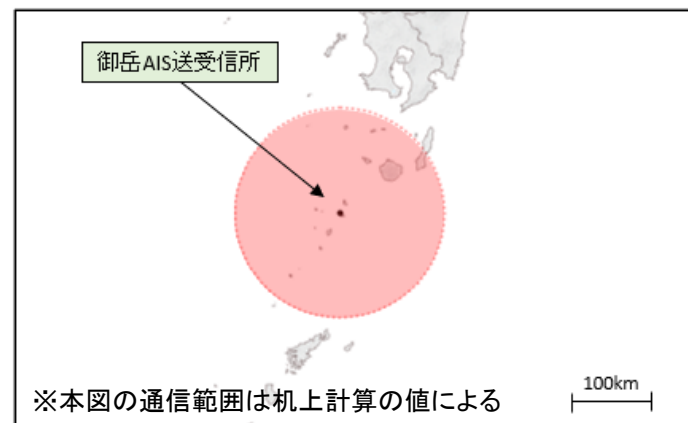
(※)御岳AIS送受信所: 鹿児島県の中の島に設置されており、AIS(船舶自動識別装置)を使用して周辺を航行している船舶の動静情報を収集し、これをもとに船舶の安全な航行を支援するために必要な情報を提供している施設。



御岳AIS送受信所



本対策で設置した
非常用発電機



御岳AIS送受信所の通信範囲

指標	R5 (実績)	R7 (目標値)
電源喪失対策が必要な航路標識 (103箇所)の整備率	71%	90%